

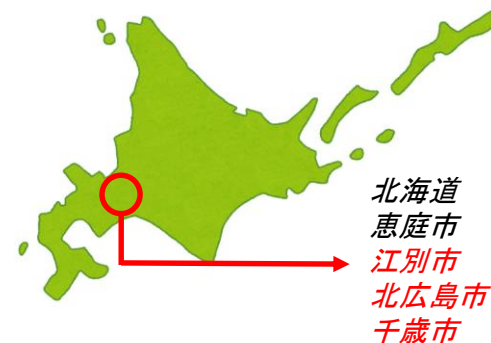
取組の概要

取組の概要 : 小麦の生産流通体制の効率化によるコスト削減
 計画作成主体 : 恵庭市地域農業再生協議会
 対象品目 : 小麦(産地面積: 3,582ha (H26))
 主な取組主体 : 道央農業協同組合
 成果目標 : 出荷コストを10%以上の削減
 助成金の活用 : 整備事業状況
 状況 (穀類乾燥調製貯蔵施設の再編)

ポイント

- 既存の乾燥調製貯蔵施設の効率化が課題となっているなか、乾燥調製貯蔵施設の再編を行うことで、施設の運営コスト等の削減や施設利用率の向上を図り、地域全体の出荷コストの削減を実現。
- 乾燥調製貯蔵体制の効率化により実需者からの要望である生産量の増加や保管状況の改善による品質の安定化、出荷ロットの大口化に対応。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H26年度〉

作付面積:3,582ha(出荷数量:16,925t)
 出荷コスト:19,495円/t

〈目標:H30年度〉

作付面積:3,842ha(出荷数量:20,810t)
 出荷コスト:16,017円/t



推進体制

地域の関係者(恵庭市・江別市・千歳市・北広島市、道央農業協同組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 地域の主要な作付品種である秋まき小麦「ゆめちから」、春まき小麦「春よ恋」の品質向上に向けた栽培マニュアルを策定。
- 栽培技術講習会の開催。

事業効果

- 地域全体の出荷コストの削減、実需者ニーズに対応した品質向上や増産等による産地競争力の強化。

～小麦の出荷コスト～

